【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成26年１月27日
【会社名】	株式会社シノケングループ
【英訳名】	Shinoken Group Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　篠原　英明
【本店の所在の場所】	福岡市中央区天神一丁目１番１号
【電話番号】	092-714-0040　（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役　霍川　順一
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区天神一丁目１番１号
【電話番号】	092-714-0040　（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役　霍川　順一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社は、平成26年１月27日の当社取締役会において、当社による子会社取得を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第８号の２の規定に基づき、臨時報告書を提出いたします。

2【報告内容】

（１）取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

（イ）株式会社吉村商会

① 商号　：　株式会社吉村商会
② 本店の所在地　：　東京都新宿区四谷一丁目４番地
③ 代表者の氏名　：　代表取締役　吉村　元久
④ 資本金の額　：　50,000円
⑤ 純資産の額　：　△94百万円
⑥ 総資産の額　：　650百万円
⑦ 事業の内容　：　投資業、有価証券の保有及び運用

（ロ）株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングス

① 商号　：　株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングス
② 本店の所在地　：　東京都新宿区四谷一丁目４番地
③ 代表者の氏名　：　代表取締役　吉村　訓丈
④ 資本金の額　：　80百万円
⑤ 純資産の額　：　589百万円
⑥ 総資産の額　：　945百万円
⑦ 事業の内容　：　有価証券の保有、売買及び運用並びにその他の投資に関する業務
不動産の売買、仲介、斡旋、賃貸及び管理等

（ハ）株式会社小川建設

① 商号　：　株式会社小川建設
② 本店の所在地　：　東京都新宿区四谷一丁目４番地
③ 代表者の氏名　：　代表取締役　田下　宏彰
④ 資本金の額　：　95百万円
⑤ 純資産の額　：　1,393百万円
⑥ 総資産の額　：　4,112百万円
⑦ 事業の内容　：　建設業

（ニ）株式会社小川建物

① 商号　：　株式会社小川建物
② 本店の所在地　：　東京都新宿区四谷一丁目３番地
③ 代表者の氏名　：　代表取締役　田下　宏彰
④ 資本金の額　：　10百万円
⑤ 純資産の額　：　27百万円
⑥ 総資産の額　：　486百万円
⑦ 事業の内容　：　不動産開発・販売業

（２）取得対象子会社の最近３年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

（イ）株式会社吉村商会

決　　算　　期	平成22年12月期	平成23年12月期	平成24年12月期
売上高	16百万円	７百万円	７百万円
営業利益（△損失）	△33百万円	△41百万円	△７百万円
経常利益（△損失）	△33百万円	△41百万円	△７百万円
当期純利益（△純損失）	△33百万円	△41百万円	△７百万円

（ロ）株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングス

決　　算　　期	平成23年３月期	平成24年３月期	平成25年３月期
売上高	79百万円	36百万円	36百万円
営業利益	53百万円	6百万円	7百万円
経常利益	49百万円	1百万円	1百万円
当期純利益	48百万円	0百万円	1百万円

（ハ）株式会社小川建設

決　　算　　期	平成23年３月期	平成24年３月期	平成25年３月期
売上高	6,545百万円	5,493百万円	5,997百万円
営業利益	15百万円	50百万円	57百万円
経常利益	17百万円	50百万円	56百万円
当期純利益	10百万円	49百万円	55百万円

（ニ）株式会社小川建物

決　　算　　期	平成23年３月期	平成24年３月期	平成25年３月期
売上高	－百万円	－百万円	－百万円
営業利益（△損失）	△3百万円	△4百万円	△3百万円
経常利益（△損失）	△2百万円	△3百万円	△2百万円
当期純利益（△純損失）	△2百万円	△30百万円	△2百万円

（３）取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

（イ）株式会社吉村商会

資本関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社吉村商会との間には、記載すべき資本関係はありません。

人的関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社吉村商会との間には、記載すべき人的関係はありません。

取引関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社吉村商会との間には、記載すべき取引関係はありません。

（ロ）株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングス

資本関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングスとの間には、記載すべき資本関係はありません。

人的関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングスとの間には、記載すべき人的関係はありません。

取引関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングスとの間には、記載すべき取引関係はありません。

（ハ）株式会社小川建設

資本関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社小川建設との間には、記載すべき資本関係はありません。

人的関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社小川建設との間には、記載すべき人的関係はありません。

取引関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社小川建設との間には、記載すべき取引関係はありません。

（ニ）株式会社小川建物

資本関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社小川建物との間には、記載すべき資本関係はありません。

人的関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社小川建物との間には、記載すべき人的関係はありません。

取引関係　：　当社と取得対象子会社である株式会社小川建物との間には、記載すべき取引関係はありません。

（４）取得対象子会社に関する子会社取得の目的

①　株式の取得の理由

当社グループは、主たる事業として、投資用アパート・マンション販売、不動産賃貸管理、金融・保証関連、LPガス供給販売などの不動産関連事業を展開しており、当社グループが提案する『お客様の資産づくり』をコンセプトにした賃貸住宅経営スキームは、サラリーマンや公務員の方でも、安心して取り組める賃貸住宅経営として、個人投資家の皆様に広く支持されております。

当社グループの強みは、フロービジネスとして、アパートやマンションを個人投資家に販売し、そのアフターサービスとして、物件オーナーや賃貸入居者へ、不動産賃貸管理、家賃滞納保証、LPガス供給、保険代理店等のストックビジネスを提供するグループシナジーを活かした一連のバリューチェーンを構築している点にあります。近年においては、平成24年11月に既存事業のマーケット領域を広げる狙いから介護関連事業に新規参入したほか、平成25年９月には家財保険を中心とした少額短期保険会社を傘下に取り入れるなど、当社グループの更なる企業価値の向上を図るため、バリューチェーンの増強に邁進しております。

一方、当社グループにおきましては、投資用アパートの建築工事は当社グループ内で行っておりますが、投資用マンションの建築工事は事業主として外部ゼネコンに発注を行っており、投資用マンション建築工事の内製化によるバリューチェーンの強化を目的として、ゼネコンを対象に子会社化を含む資本提携先を模索しておりました。このような中、当社グループが販売する投資用マンションの施工実績を有する株式会社小川建設（以下、「小川建設」という。）に関心を持ち、財務アドバイザリー会社と連携の上、小川建設の実質的な資本上位会社である株式会社吉村商会（以下、「吉村商会」という。）代表者と協議を進めて参りました。

小川建設は、創業明治42年の老舗ゼネコンであり、100年以上に亘って培われたその技術力と信頼は各方面より高く評価されております。同社は、①マンション・個人住宅などの建築請負事業、②耐震工事や建物診断などの建築リニューアル事業、③相続税対策などの土地活用事業、の３事業を柱として、法人・個人・官公庁の幅広い顧客層に対し、建築全般にかかる企画・設計・施工から、そのアフターメンテナンスまで一貫したサービスを提供しております。この度の株式取得により、当社グループは、投資用マンション事業における一部プロジェクトの建築工事を内製化することで、同業他社に無いコスト競争力を有することに加え、小川建設が展開する関東一円をカバーした営業拠点を活用することで、近年、急増している土地所有者の土地活用のお問い合わせに対しても、より高品質かつ魅力的な投資用賃貸住宅のご提案が可能となります。

同時に、小川建設においては、当社グループが供給する投資用マンションの請負工事を安定的に受注することが出来るほか、当社グループと連携した購買体制の構築を図ることで、ボリュームディスカウントによるコスト削減も可能となる見通しです。

これらのことから、小川建設が当社グループの一員としてフロービジネスの一翼を担うことは、双方にとって高いシナジー効果をもたらし、当社グループの企業価値の向上に資することが見込まれることから、今回の株式取得に至りました。

② 子会社化の対象会社

吉村商会および株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングス（以下、「ヨシムラREHD」という。）は資産管理会社であることから、今回の株式取得の実質的な対象は、小川建設および株式会社小川建物（以下、「小川建物」という。）となりますが、吉村商会の完全子会社がヨシムラREHD、ヨシムラREHDの完全子会社が小川建設、小川建設の完全子会社が小川建物という資本構成になっていることから、吉村商会代表者と協議の上、当社が直接株式を取得する対象会社を吉村商会としました。

これにより、連結子会社となる会社は、吉村商会、ヨシムラREHD、小川建設および小川建物の4社となります。



（５）取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社吉村商会、株式会社ヨシムラ・RE・ホールディングス、株式会社小川建設及び株式会社小川建物の普通株式	2,520百万円
アドバイザリー費用等（概算額）	85百万円
合計（概算額）	2,605百万円

以　上